

標題 : 自治労組織内参議院議員(比例代表)の活動報告記事(23.11.13)について
発信番号 : 自治労情報2023第0194号
発信日付 : 2023年11月13日
宛先(団体) :
宛先 : 各県本部委員長様
送信者(団体): 全日本自治団体労働組合
送信者 : 中央執行委員長 石上 千博

連日のご健闘に敬意を表します。

参議院比例代表選挙選出の自治労組織内議員である「鬼木まこと」「岸まきこ」各参議院議員の活動報告をお送りいたします。

つきましては、県本部・単組等の、機関紙・ニュース等でご活用いただきますようお願いいたします。

1. 記事掲載URL(記事Wordファイルおよび写真データを掲載)

<https://remote2.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/cabinet/index?sp=0&hid=8004>

2. 記事内容

◆鬼木まこと参議院議員「＜給与法＞国民の怒りを買う閣僚等の給与アップ法案に反対」

私の所属する内閣委員会における今国会の重要課題である国家公務員の一般職給与法と特別職給与法の審議が始まりました。一般職給与法案の内容は、8月の人事院勧告どおり実施するもの。一方、特別職給与法には総理や大臣など政務三役の指定職と大阪万博大使の給与改定も含まれるため、「給与アップ法」として話題となりました。

物価高に賃金上昇が追いつかない状況に対して有効な対策を講じていない政府に対する怒りの声がこの法案に多く寄せられたこともあり、立憲民主党として政治家の指定職と万博大使の給与引き上げを据え置く修正案を提出しましたが、与党により否決されました。今回のことは、一般職と特別職の給与決定のあり方に課題を提起したものと考えます。

給与法は、参議院での審議を経て、11月17日の参議院本会議で成立する見込みです。12月1日の期末手当基準日と各自治体の12月議会までに間に合うよう、法案成立の取り組みを進めます。

◆岸まきこ参議院議員「「絵に描いた餅」ではなく、「実のある果実」を求めていきます」

「税收増の還元」と所信で表明した岸田首相は、10月末に所得税等の定額減税策を発表しました。しかし、当然のことながら過去の税收増額は既に支出済で、原資となる財源は存在しません。借金である国債の発行額増による影響、減税分の地方財政の穴埋めが課題となります。

また政府は、定額減税と低所得者支援との谷間に置かれる世帯への「丁寧な支援」を掲げていますが、対象世帯をどのように把握し、どのような手立てを講じるのか。具体を問えば、これから年末にかけての議論を待つとの回答。私たちはまさに絵に描いた餅を提示されたにすぎません。

そして、これら経済対策の実務を担うのは自治体との報道がされています。だとすれば、減収分の地方財政確立のみではなく、そもそもの制度設計が自治体の過度な負担を招くことがないよう、注視していくことが重要です。

インフレ対策を生活者に寄りそった実のある政策とし、実務を担う自治体が対応可能な制度設計となるよう、仲間の議員とともに実現をめざしていきます。